

2003年4月10日

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

## 低価格で高速なアンチウイルス コンテンツフィルタリング統合セキュリティ製品の国内販売を開始 ～米国 Fortinet 社と国内販売代理契約を締結～

記

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ（本社：神奈川県横須賀市、代表：渡部進、以下略称：NVC）は、高速セキュリティゲートウェイ製品「FortiGate」シリーズを開発・販売する米国 Fortinet 社（本社：米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO：Ken Xei、以下略称フォーティネット）と、日本における代理店契約を締結し、国内販売を開始する。NVCは現在のセキュリティ市場を牽引しているネットスクリーン社(Netscreen)の代理店でもあり、低価格で高速なアンチウイルス、コンテンツフィルタリングセキュリティソリューションを合わせて提供していく。「FortiGate」シリーズは、SOHO、中小企業など小規模ネットワーク向け製品（FortiGate 50・100・200・300）から、エンタープライズなど中規模ネットワーク向け製品（FortiGate 400・500）、サービスプロバイダなど大規模ネットワーク向け製品（FortiGate 3000）までさまざまな要求に対応する製品ラインアップが整っている。NVCでは、既に最上位機種である「FortiGate 3000」の複数サイトへの導入を決定している。

価格は SOHO、中小企業向けの「FortiGate 50」で 15 万 8,000 円、最上位機種の「FortiGate 3000」を 498 万円で提供し、本年度 5 億円の売上げを見込んでいる。

周知のように、インターネットは企業ネットワークの必要不可欠なインフラとして急速に普及しており、それにともない Web サイトへの不正侵入や、改ざんなどの被害が急増している。こういった被害を防ぐために、アンチウイルス、コンテンツフィルタリング、IDS などの高度なセキュリティ運用管理が重要である。

「FortiGate」シリーズは Fortinet 社が独自に開発した（FortiASIC™）コンテンツプロセッサと（FortiOS™）コンテンツオペレーティングシステムの組み合わせである ABACAS™テクノロジーにより、ファイアウォール、不正侵入、VPN、トラフィックシェーピングなどネットワークレベルのサービスに加え、アンチウイルスやコンテンツフィルタリングなどのアプリケーションレベルのサービス機能も 1 台のハードウェアで高速に処理する。

### 「FortiGate」シリーズの特徴

- ファイアウォール： ICSA 認定のステートフルインスペクション ファイアウォール
- IDS： 高速なネットワークモニタリング
- コンテンツフィルタリング： パフォーマンスを落とすことなくリアルタイムで URL やキーワードを制限
- VPN： ICSA 認定の IPSec VPN
- アンチウイルス： 高速 ASIC ベースアンチウイルスソリューション
- 機能： ウイルス/ワームスキャン、FireWall、VPN、侵入検知、コンテンツフィルタリング、

トラフィックシェーピング、DMZ ポート、ログ収集、リモートクライアントエンハンスメント、HA、ロードシェア、マルチゾーン、冗長化電源

- FWスループット： 2.25Gbps
- 168bit Triple-DES スループット (Mbps) : 530
- ポリシー数： 100K
- VPNトンネル： 5K

## 製品例: Fortigate 3000



### 【ICSA(International Computer Security Association)について】

ICSAは、評価活動を行う独立団体で、テスト環境におけるパフォーマンスが非常に優れていた製品のみを認定している。「FortiGate」シリーズはハードウェアで初めてファイアウォール、アンチウイルス、IPSecの3分野の認定を受けている。

<https://www.icsalabs.com/>

### 【フォーティネット社 (Fortinet Inc. ) について】

フォーティネットは米国カリフォルニア州サンタクララで2000年にネットスクリーン社 (NetScreen) の創設者であり、前社長兼 CEO ケン・ジー (Ken Xie) により設立された。現在、カナダ、中国、フランス、ドイツ、イギリス、香港、日本、韓国、台湾、シンガポールにオフィスを展開している。

<https://www.fortinet.com/>

以 上